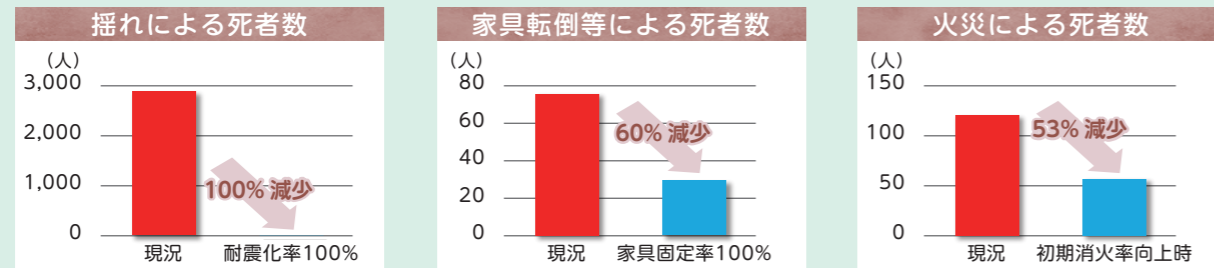


事前の対策で被害を防ごう！

防災対策とその効果

揺れに弱い古い建物の耐震化や家具の固定、初期消火向上を行った場合、揺れによる建物の全壊棟数や死者数を大幅に減らすことができます。

南海トラフの巨大地震の例



※国土交通省では、新耐震基準(1981年以降の建物)を満たしている建物は、震度6強から7の大地震であっても倒壊・崩壊するおそれがないことと定められているため、新耐震基準の建物では人命にかかわるような致命的な破壊には至らず、例え被害を受けたとしても時間的猶予などがあることから、死者は発生しないとみなしています。
※初期消火とは、出火間もない状態で居住者や隣人等が水や消火器などを用いた消火のことです。

自宅でできる防災対策

地震による被害は、事前の防災対策で減らすことができます。防災対策は私たち個人で行うものから行政で行うものまでさまざまです。

ここでは家庭でできる防災対策の例を紹介します。事前の対策で被害を防ぎましょう！

自宅の耐震化を検討しましょう！

- Point! 耐震基準が大きく変わった昭和56年5月以前に着工された住宅は地震による倒壊の恐れがあります。まずは、ご自宅がいつ建築されたか確認しましょう。
- Point! 昭和56年5月以前に着工された木造住宅は市町村で実施している無料の耐震診断を受けることができます。耐震診断で自宅の耐震性をチェックしましょう。
- Point! また、耐震診断で地震により倒壊の恐れがあると診断された木造住宅の耐震化には補助金の制度があります。詳しくは、お住いの市町村窓口にお問い合わせください。

耐震化の補助制度についてはこちらまで



家具の地震対策をしよう！

- Point! 下敷きになるのを防ぐため、大きな家具は固定しましょう。
- Point! ガラスの飛散対策を行いましょう。
- Point! ストープやガスコンロの周りに燃えやすいものはありませんか？



ハザードマップを確認しよう！

- Point! お住まいの地域はどれくらい揺れますか？
- Point! 地震による土砂災害や液状化の危険はありますか？



物資を備えよう！

- Point! すぐに避難できるよう、非常用持出品を準備しましょう。
- Point! 地震時には停電や断水が発生します。食料、飲料水、簡易トイレなどを準備しましょう。
- Point! スマホの予備電源やラジオを用意して、情報源を確保しましょう。



もし地震が起きたら？家族で話し合おう！

- Point! 身を守る行動ができるように、家の中で逃げ込める場所を家族で決めておきましょう。
- Point! 連絡方法や集合場所を決めておきましょう。
- Point! 自宅や学校、勤務先から最寄りの避難所までの道を確認しましょう。



ご近所さんや周りの人と助け合おう！

- Point! 地域の防災訓練や防災セミナーに参加してみましょう。
- Point! 山梨県立防災安全センター(中央市TEL055-273-1048)では様々な防災学習を行うことができます。



被害想定に関する質問はこちらまで

山梨県防災局防災危機管理課
TEL: 055-223-1432
メールアドレス: bosai@pref.yamanashi.lg.jp



令和5年6月作成

地震被害想定調査

の結果を お知らせします。



山梨県観光キャラクター「武田菱丸」

はじめに

日本は世界有数の地震大国と言われています。多くの死者・行方不明者を出した東日本大震災(2011年)以降各地で大きな地震が発生し、甚大な被害が生じています。

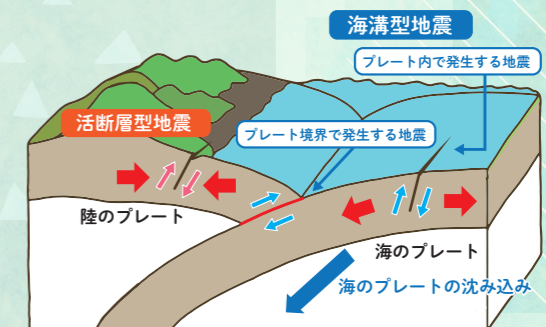
これらを受けて山梨県では、最新の科学的知見や手法、過去の地震から得られた課題や教訓を踏まえて、約25年ぶりに新たな地震被害想定調査を行いました。

このパンフレットは、山梨県の周辺でどのような地震が発生し、どのくらいの被害を受けるのか、地震に備えるために何をしたらよいかを、県民の皆さんにお知らせするものです。地震から命を守るため、ご自宅での防災対策に役立ててください。

山梨県の地震

地震災害には、1995年阪神・淡路大震災のように活断層の活動により発生する**活断層型の地震**と、2011年東日本大震災のように海洋プレートと大陸プレートの境界で発生する**海溝型の地震**とがあります。

日本列島周辺で発生する地震のタイプ



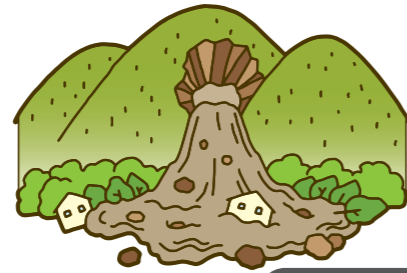
参考: 地震調査研究推進本部 HP より

山梨県

地震によって起こること



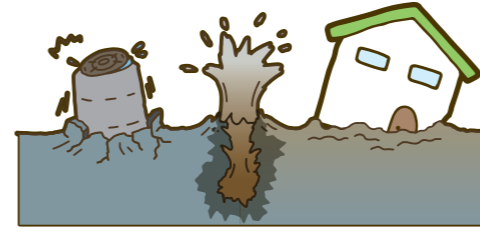
建物等の倒壊



土砂災害



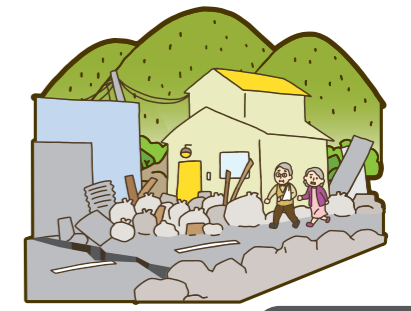
ライフラインの被害



地盤の液状化



火災



集落の孤立

想定される主な地震と被害

被害の概要

山梨県では、県内に被害をもたらす可能性がある大きな地震を対象として、建物や人、ライフラインなどがどれくらいの被害を受けるか、科学的な知見に基づいて予測しました。

その結果、山梨県の中心に位置する曾根丘陵断層帯で発生する地震による被害が最も大きく、**全壊する建物が9万棟以上、死者が約4,000人、負傷者が約2万人**発生する結果となりました。

各地震の特徴

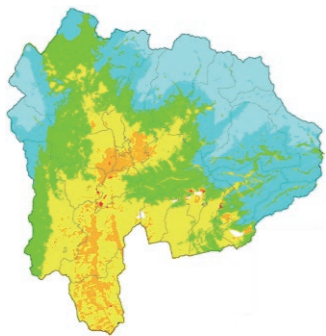


被害項目(抜粋)	単位	南海トラフの巨大地震	首都直下地震M7(立川市直下)	糸魚川-静岡構造線断層帯中南部区間	糸魚川-静岡構造線断層帯南部区間	曾根丘陵断層帯	身延断層	塩沢断層	扇山断層	富士川河口断層帯	(参考)首都直下地震M8(相模トラフ)	
		海溝型	海溝型	活断層型	活断層型	活断層型	活断層型	活断層型	活断層型	活断層型	活断層型	海溝型
建物被害(全壊)	液状化	棟	1,351	770	455	1,051	1,198	282	285	336	901	1,132
	揺れ	棟	52,542	3,235	18,490	66,746	79,643	176	2,100	1,808	21,263	13,659
	土砂災害	棟	122	65	16	67	93	30	32	61	75	134
	火災	棟	6,002	229	580	4,897	13,169	-	163	22	2,235	12,160
	合計	棟	60,017	4,299	19,542	72,761	94,102	488	2,580	2,227	24,474	27,085
人的被害	死者	人	3,019	202	1,088	3,491	3,843	14	104	114	1,219	1,044
	負傷者	人	16,254	1,612	6,847	18,283	20,008	136	826	881	7,899	4,613
ライフライン被害	上水道	断水人口	391,676	41,803	52,117	253,969	415,126	9,435	47,756	49,896	95,752	121,289
	下水道	支障人口	58,314	20,472	14,672	28,013	48,696	4,612	27,614	25,810	24,583	77,238
	電力	停電人口	623,786	198,684	189,454	442,793	593,101	53,483	119,136	134,150	298,449	183,818
	通信	支障回線	599,068	192,889	187,869	422,302	555,669	53,509	118,281	131,599	286,515	193,297
	都市ガス	停止件数	24,023	-	-	15,184	24,023	-	-	-	-	15,184
LPガス	被害件数	920	131	187	438	723	31	307	294	143	889	
避難者	人	140,329	9,738	32,373	140,635	207,242	1,673	10,814	9,960	48,839	53,443	

*被害は季節・時間によって変動します。 *合計値は小数点以下の取り扱いによる値が合わない場合があります。

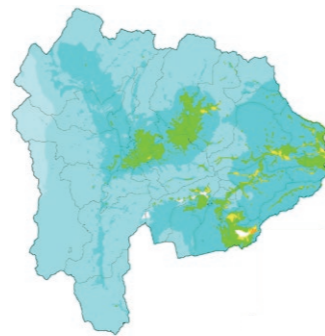
南海トラフの巨大地震

静岡県から九州にかけて、広い地域で被害が発生する海溝型の地震です。山梨県は、震源は遠いものの、県中心部～南部にかけて最大震度7の揺れが発生します。その結果、全壊する建物は6万棟以上、死者は約3,000人発生します。



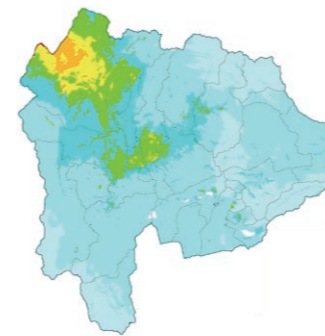
首都直下地震M7(立川市直下)

東京都・神奈川県・千葉県にかけて発生する海溝型の地震です。震源に比較的近い、県東部において、最大震度6強の揺れが発生します。その結果、全壊する建物は約4,000棟、死者は約200人発生します。



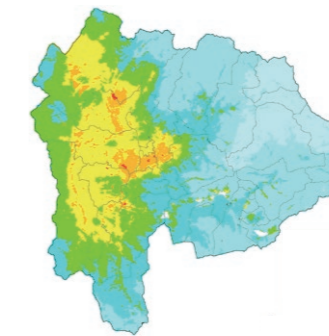
糸魚川-静岡構造線断層帯中南部区間

山梨県北西部から長野県にかけて発生する活断層型の地震です。震源が位置する県北西部において、最大震度7の揺れが発生します。その結果、全壊する建物は約2万棟、死者は約1,000人発生します。



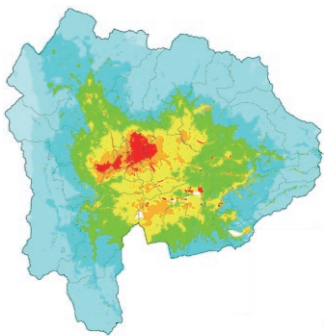
糸魚川-静岡構造線断層帯南部区間

山梨県西部において発生する活断層型の地震です。震源が位置する県西部において、最大震度7の揺れが発生します。その結果、全壊する建物は7万棟以上、死者は約3,000人発生します。



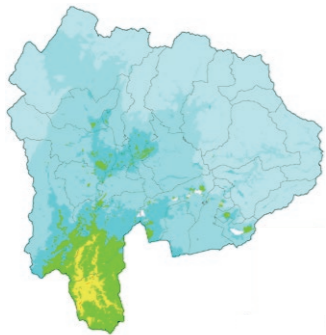
曾根丘陵断層帯

今回の被害想定で、最も大きな被害が発生した地震です。震源が位置する県中心部において、震度7の揺れが広く発生します。その結果、全壊する建物は9万棟以上、死者は約4,000人発生します。



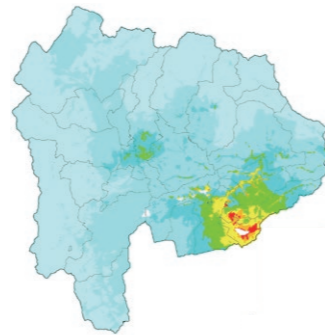
身延断層

山梨県南西部において発生する活断層型の地震です。震源が位置する県南西部において、最大震度6強の揺れが発生します。その結果、全壊する建物は約500棟、死者は約10人発生します。



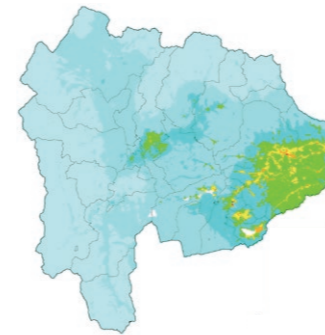
塩沢断層

山梨県南東部から神奈川県・静岡県にかけて発生する活断層型の地震です。震源に位置する県南東部において、最大震度7の揺れが発生します。その結果、全壊する建物は約3,000棟、死者は約100人発生します。



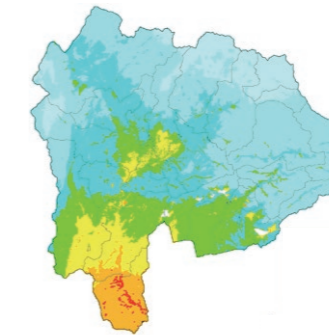
扇山断層

山梨県東部から神奈川県にかけて発生する活断層型の地震です。震源が位置する県東部を中心に、最大震度7の揺れが発生します。その結果、全壊する建物は約2,000棟、死者は約100人発生します。



富士川河口断層帯

山梨県南部から静岡県にかけて発生する地震です。震源の近い県南部において、最大震度7の揺れが発生します。その結果、全壊する建物は2万棟以上、死者は約1,000人発生します。



(参考)首都直下地震M8(相模トラフ)

首都圏を中心に広い地域で被害が発生する海溝型の地震です。震源に近い県東部を中心に、最大震度7の揺れが発生します。その結果、全壊する建物は約3万棟、死者は約1,000人発生します。

